

<平成30年度 ハローオリンピズム事業>

オリンピック教室

実施報告書

埼玉県 鴻巣市立吹上中学校





平成21年4月の学習指導要領の改訂以来、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されています。その中で、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容には、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」とオリンピックの意義が明示されています。そこで、JOCでは、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められており、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことのできない感動が生まれることを期待しております。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

また、「スポーツ基本法」の前文の一部には、「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習することで、この基本法に記された精神や態度が日常生活の中で具現化され、生涯にわたってスポーツに親しむことができるようになることを願っています。



- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成30年4月～平成31年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 60校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります



1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を受け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実施内容

- 期 日：平成30年10月10日（水）
- ク ラ ス：2年2組（37名）
- オリンピアン：村上 睦子 先生（バスケットボール）



■授業のながれ：運動の時間（1時限）

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・簡単な自己紹介の後、運動の時間は「ルールを守り、どんなことにも全力で取り組む」「友達を思いやり、声を掛け合い、協力する」「皆でアイデアを出し合い、工夫し、チャレンジする」ことを約束。
- ・ボールを使った準備体操の後、ドリブル・シュート、パス練習を実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・6班に分かれてシュート競争を全2回実施。
- ・1回目終了後、各班の得点を発表し、さらに得点を伸ばすための作戦を話し合う。

4. まとめ



- ・座学の時間には村上先生の体験も交えて話をするので、皆でオリンピックについて考えようとする。
- ・運動の時間で取り組んでもらったことは、村上先生がオリンピックに向けて取り組んできたこととつながる部分があるので、座学の時間まで覚えておいてほしいと伝え、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



- ・座学の時間はオリンピックについて考えようと授業の目的を確認。オリンピックのイメージを問いながら、近代オリンピックが開催される目的やオリンピックシンボルに込められた意味等について説明。
- ・今までの競技人生を振り返り、村上先生にとってのオリンピックバリュー（エクセレンス、フレンドシップ、リスペクト）について説明。

3. グループワーク



- 発問①：運動の時間に感じたこと、意識したことをオリンピックバリューに当てはめて考える。
- 発表①：全力でプレーした、シュートを決めるために工夫した(エクセレンス)、皆で声を掛け合い素晴らしい団結力を発揮した、互いに協力し合えた(フレンドシップ)、当たり前には試合ができる環境に感謝、お互いに拍手して讃え合った(リスペクト)等の意見が挙げられた。
- 発問②：合唱コンクールに向けてどうしたら皆が一つになれるか、頑張れるかをオリンピックバリューに当てはめて考える。
- 発表②：場の雰囲気をもたげ、積極的に練習する(エクセレンス)、皆で一丸となる、皆で声掛けして協力する(フレンドシップ)、先生に感謝する、友達同士でアドバイスする(リスペクト)等の意見が挙げられた。

4. まとめ



- ・オリンピックバリューは選手だけのものではなく、皆の日常生活の中にも見出すことができ、自分の考え次第で周りの環境も変えられると伝える。
- ・東京2020大会には皆もさまざまな形で関わってほしいと伝え、授業終了。

実 施 内 容

- 期 日 : 平成30年10月10日 (水)
- ク ラ ス : 2年1組 (36名)、2年3組 (35名)
- オリンピアン : 高尾 千穂 先生 (スキー・フリースタイル)



■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・簡単な自己紹介の後、運動の時間では「チームで協力する」「ベストを尽くす」「目的意識を持つ」ことを約束。
- ・ストレッチ等を行った後、じゃんけん勝ち抜けを全2回実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・8の字跳び (90秒間×3回) を実施。各回終了後に回数を発表し、より多く跳ぶために作戦タイムを設ける。
- ・最後にクラス全員跳びに挑戦。

4. まとめ



- ・「協力する」「ベストを尽くす」「目的を持つ」の3つの約束を実践できたかを確認し、運動以外の場面でもとても大切なことであり、今後も意識してほしいと伝える。
- ・次の座学の時間ではオリンピックバリューについてさらに詳しく考えようと予告し、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



・スライドや映像を見せながら競技について紹介。高尾先生の競技人生を振り返り、高尾先生にとってのオリンピックバリュー（エクセレンス、フレンドシップ、リスペクト）について説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



発問：夢や目標を達成するために必要なこと、できることを考える。

発表：つらい時でも前向きに努力し苦手を克服する、音楽祭優勝を目指し練習から全力で取り組む(エクセレンス)、チームワークを大切にクラス全員でいい合唱をつり上げる、団結力を高め仲間を大切にする(フレンドシップ)、人の良いところを尊敬し真似する、アドバイスをくれた友達や先生に感謝する(リスペクト)等の意見が挙げられた。

4. まとめ



・普段の生活をオリンピックバリューに当てはめて考えてみると、オリンピックバリューは選手だけのものではないことが分かる。目標を持つことで、より真剣に取り組むことができるので、目標に向かって一生懸命取り組んでほしいと伝え、授業終了。



■ 集合写真
2年1組



2年2組





■ 集合写真
2年3組



■ 記念品贈呈
2年1組



2年2組



2年3組



■ 修了証贈呈

